

(一般代表)質問通告書

令和 6年 12月 2日
8時 50分受付 ①番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和6年12月2日

会派名 みらいの会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒岩重彦

質問事項

1. 新体育館の建設に伴う市民の影響について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市においては、市体育館や三井消防署庁舎、学校給食センターなどの老朽化した公共施設の建て替えが来年度より本格的にスタートするが、その中でも現地建て替えでかつ既存施設を利用しながら工事が実施される市体育館は、市民の施設利用の制限が予想され、また工事車両が頻繁に出入りするなか市民が安全に施設の利用が出来るのか大変懸念される。

現行の市体育館は、特に駐車スペースが100台程しかなく手狭であるので、そこに工事資材が置かれたり、工事車両が止められたりすると、間違いなく市民の施設利用が大きく制限される。また更に隣地の三井消防署も同時期に庁舎の建て替えを行っており、一時的な駐車場としての代替地にはならず、新たな対応が求められている。

このような状況を踏まえ、これからの新体育館の建設工事を実施するにあたり、どのように取り組んでいくのか市としての見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 施設 (アリーナ、武道場、弓道場) の利用は従来どおり出来るのか。
- (2) 代替施設の検討について問う。
- (3) 学校や連盟・団体等の大会の開催は可能なのか。
- (4) 工事の影響により駐車スペースの制限や駐車自体が出来なくなるのではないのか。
- (5) これまで市文化事業や講演会・研修会等で体育館駐車場を使用していたが、工事期間中は使用出来ないのではないのか。
- (6) 新たな駐車場の設置について問う。

質問事項

2. 防犯対策について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市では防犯対策として、生活道路での犯罪抑止や夜間通行の安全を確保するために街路灯や防犯灯及び防犯カメラの整備を推進しているが、防犯灯の設置については、市が設置しているものもあるが、主に行政区が主体で防犯灯の設置及び管理を推進しており、その費用の一部を補助している状況にある。行政としては市全体の防犯灯の設置状況や防犯上危険な場所の把握に努め、主体性を持って防犯対策に取り組むべきと考えるが、市の見解を問う。

また最近、地域情報として不審者の注意情報や高齢者の徘徊・行方不明者の情報がメールによりたくさん通知がっており、その対策として「防犯カメラ」の設置やGISを活用した「デジタル安全・安心防犯マップ」は大きな効果があると思われるが、市の見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 防犯灯の整備について問う。
- (2) 夜間照明の改修及び撤去について問う。
- (3) 防犯カメラの設置について問う。
- (4) 「ツイタもん」導入後の活用状況並びに課題について問う。
- (5) デジタル安全・安心防犯マップの作成について市としての見解を問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 6年 11月 25日
10時15分受付 / 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 11月 25日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

質問事項

1. 小郡・鳥栖南インター周辺のまちづくりの現状を問う (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡・鳥栖南インターが6月に開通し鳥栖市では、サザン鳥栖クロスパーク産業団地として開発が進んでいると聞いているが、小郡市の取り組みの現状を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 農振除外のための地権者・耕作者の同意の現状を問う。
- (2) 治水対策の現状と下水道事業に対する県との協議の現状を問う。
- (3) 令和7年度までの市街化区域編入の見込みと対策を問う。
- (4) 鳥栖市の開発の状況について確認しているか。
- (5) 現地での農地の現状と開発の今後の方向性を問う。

質問事項

2. 税制改革が実施された場合の小郡市の財政状況を問う (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

現在政府で税制改革が検討されており(103万円~178万円)実施された場合、小郡市の財政への影響がどうなるのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 最大178万円になった時、市民税に対する影響について問う。
- (2) 地方交付税に対する影響について問う。
- (3) 従業員51名以上の会社で20時間以上働く厚生年金及び健康保険に加入する必要がある場合の市民への影響を問う。

(一般代表)質問通告書

令和 6年 11月 25日
10時34分受付 2番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 11月 25日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

質問事項

1. 共生社会の実現にむけた手話言語条例の制定について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

障がいの有無にかかわらず、すべての人が互いを理解し、支え合いながら生きていく共生社会を築くためには、障がいのある方々が日常生活の中で感じている不便や壁を取り除くことが必要であると考えます。聴覚障がい者の方々が直面している最大の壁が「言語の壁」である。

手話は、単なるコミュニケーション手段ではない。障害者基本法では、言語には手話が含まれていることが明記されている。

2023年、福岡県において手話言語条例が成立した。この条例は、手話を尊重し、普及を促進する姿勢を明確に示していることから、聴覚障がい者が安心して暮らせる社会を目指す上で大きな一歩であると考えます。

しかし、県レベルの条例が成立しただけでは、地域ごとの実情に対応するには限界がある。

現状として、手話が十分に普及しているとは言えず、手話通訳者の不足や手話への理解が不十分な場面が多いのが現実である。

福岡県条例が示す理念を具体的に実現するためには、本市においても独自の「手話言語条例」を制定し、地域の課題に応じた取組みを進めることが不可欠である。条例を制定することで、手話通訳者の育成を進めるとともに手話学習の機会を市民に提供し、市民が手話に自然に触れられる環境を整えることが可能になると考える。また、行政サービスや学校教育、災害時の情報伝達方法の中に手話の導入を進めることにより、地域全体での理解促進とともに聴覚障がい者への支えとなることが期待される。

福岡県内では、すでに手話言語条例を制定した市町村もある。

本市においても条例を制定することで、県全体での取組みをさらに加速させることができるものと考えます。

そこで、本市での「手話言語条例」制定についての考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市における聴覚障がい者の現状や日常生活で直面している課題をどのように把握しているかについて問う。
- (2) 手話の普及啓発に対する取組みの現状と課題について問う。
- (3) 聴覚障がい者からの意見の把握とその対応について問う。
- (4) 災害その他の非常事態において、聴覚障がい者への対応について問う。
- (5) 本市独自の手話言語条例の必要性について問う。

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 11月 25日
10時 41分受付 3番

令和 6年 11月 25日

会派名 公明党

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田典彦

質問事項

1. 子宮頸がん撲滅に向けた取り組みについて (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和6年度は公費による子宮頸がんワクチン接種対象の最終年度となる「高校1年生」と「キャッチアップ接種」の接種率は回復傾向にあるが、全体では8月末時点で35%と低い状況。小郡市における現状を尋ねる。また、キャッチアップ接種が終了となり、令和7年度以降の「定期接種(対象者:小6~高1)」に対する将来の子宮頸がん患者を減らすための取り組みを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) キャッチアップ接種が開始となった令和4年度から令和6年10月までの、令和6年度の「高校1年生」と「キャッチアップ接種対象者」の接種率は。
- (2) 令和6年度の「高校1年生」及び「キャッチアップ接種対象者」への郵送通知による周知の内容を問う。
- (3) 来年度(令和7年度)「高校1年生」となる予定の今年度「中学3年生」の対象人数及び接種率と周知方法、この年代に個別通知した場合にかかる費用はどれくらいか。

質問事項

2. 特殊詐欺被害防止の取り組みについて (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

高齢者を狙った特殊詐欺はますますその手口は巧妙化し、電話だけではなくSNSを使った投資詐欺やロマンス詐欺による被害が拡大している。これらの犯罪への早急な対策が必要と考えるが小郡市としてこれらの特殊詐欺被害防止の現状と取り組みについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 本市における特殊詐欺犯罪の現状は。
- (2) 特殊詐欺への対策はどのようにおこなっているか。
- (3) 自動通話録音機設置に対する補助はできないか。

令和 6年 11 月 25 日
12 時 49 分受付 4 番

一般(代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 11月 25日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 _____

佐々木 益雄

質問事項

1. 「ワンヘルス」の推進について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

ワンヘルスとは、人の健康、動物の健康、環境保全は一つという考えのもと、人と動物、そしてそれらを取り巻く環境が直面している様々な課題に対して、医師や獣医師、研究者だけでなく、行政や企業、市民も一緒になって解決していこうという社会活動である。ワンヘルスの様々な課題に対する取り組みとして、(1)人獣共通感染症対策、(2)薬剤耐性菌対策、(3)環境保護、(4)人と動物の共生社会づくり、(5)健康づくり、(6)環境と人と動物のより良い関係づくり、の6つの柱がある。福岡県は令和4年3月30日に「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を策定し、同年10月28日には「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例」を交付し施行しているが、小郡市におけるワンヘルスに対する考えや今後の取り組み、またワンヘルスの推進について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 人獣共通感染症対策について問う。
- (2) 薬剤耐性菌対策について問う。
- (3) 環境保護について問う。
- (4) 人と動物の共生社会づくりについて問う。
- (5) 健康づくりについて問う。
- (6) 環境と人と動物のより良い関係づくりについて問う。
- (7) ワンヘルスフェスタについて問う。
- (8) ワンヘルス推進宣言について問う。
- (9) ワンヘルス推進基本条例について問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 6年 11月 25日
16時 55分受付 5番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 11月 25日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

1. 小郡市が目指す、子ども・子育て支援とは (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

国はこども家庭庁を立ち上げ、こども大綱を決定した。小郡市も「小郡市子ども・子育て支援事業計画」の第3期計画を策定するために今年度予算計上されている。

では、小郡市が目指す子ども・子育て支援、将来への考え方について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 少子化は進んでいるが、小郡市としての考え方はどうなのか。他市町村からの流入もあるが、根本的な考え方を問う。
- (2) 子育て世代から行政への要望・支援ニーズについて、どのように把握しているのか。また、その対策について問う。
- (3) 保育ニーズが高まっている現状があるが、今後、保育ニーズに対応することができるのか。また、幼稚園の今後についてどのように考えているのか。
- (4) こども誰でも通園制度が始まるが、対応はどのように考えているのか。
- (5) 幼児施設審議会が立ち上がっているが、方向性はどのようになっているのか。
- (6) 第3期子ども・子育て支援計画の策定の現状について。特に、子どもたちからの意見聴取などは行うのか。行うならば手段はどのようになっているのか。また、育児をしている親世代の意見はどのようにして聞くのか。
- (7) あすてらす、子ども家庭支援センターの今後、より活用するための方策はあるのかについて問う。
- (8) こどもまんなか社会の実現のために小郡市として「こどもまんなか」に対しての考え方について問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 6年 11月 28日
15時 38分受付 6番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 11月 28日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小野 壽義

質問事項

1. 小郡・鳥栖南スマートインターチェンジ周辺の企業誘致の取り組みについて (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和6年6月9日、小郡・鳥栖南スマートインターチェンジが開通し、これにより鳥栖インターチェンジの渋滞が緩和され、九州自動車道の利用がより便利になった。

また、小郡・鳥栖南スマートインターチェンジ周辺の企業誘致が進み、市の今後の発展に寄与すると考える。しかし、課題も多く残っていることも事実。その最大の課題は治水対策だ。毎年のように大雨により水害が発生している地域であるため、対策が急がれる。

そこで、今後の企業誘致にかかる取り組みと治水対策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 土地利用計画について問う。
- (2) 農振除外、農地転用について問う。
- (3) 企業誘致計画の面積について問う。
- (4) 企業誘致の進捗について問う。
- (5) 同地区は浸水地域であり排水対策について問う。
- (6) 誘致企業による災害対策や治水対策、調整池の設置について問う。

質問事項

2. 雨水貯留タンクの取り組みについて (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市は、流域治水対策として田んぼダムの実施や、オンサイト貯留施設の建設を行っている。しかし、流域治水の取り組みは様々な方法があると考え。そこで、雨どいに流れる雨水を一時的に貯留する「雨水貯留タンク」の取り組みは、一つの治水対策で効果があると考え。

田んぼダムの取り組みのように、行政だけで治水対策を行うのではなく、市民の力をかりて「オール小郡」で雨水貯留タンクに取り組み、治水効果があると考え。市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市の雨水貯留タンクの取り組みの考えについて問う。
- (2) 公共施設等の雨水貯留タンク設置の取り組みについて問う。
- (3) 田んぼダム同様、市民の取り組みへの協力について問う。
- (4) 小学校の水泳授業の外部委託により、空きプールの活用について問う。
- (5) 貯留タンクに取り組む市民への協力と補助について問う。

令和 6年11月 29日
15時 44分受付 7番

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 11月 29日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 新原 善信

質問事項

1. 切れ目のない子育て支援について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、昨年4月より「子ども家庭支援センター」を開設し、子どもと家庭にかかわる総合的支援体制整備を行ってきた。7月には、あすてらすを相談支援拠点にふさわしいレイアウトに改修しリニューアルオープンした。施策推進にあたっては常にこどもの最善の利益を第一に考え、子どもを取り巻く家庭や学校、地域社会全般にわたる総合的で継続的な施策を小郡市の真ん中に据えて、強力に進めていくことが目指されてきた。

そこで、これまでの取り組みの成果と今後取り組むべき課題、改善点について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 要支援の親子に対する総合的で継続的な支援マネジメントはどのように改善されたか。
- (2) 病児病後児保育の現状と課題は何か。
- (3) 経済的支援としておむつ券等給付事業を行うべきではないか。
- (4) 3歳1か月健診から就学前健診の間のフォローをどうしていくか。
- (5) あすてらすの相談室をもっと温かくて親しみのある場にするべきではないか。

質問事項

2. 不登校児童生徒に対する校内教育支援センターの機能強化について (教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本年4月から小郡市内4小学校に不登校児童に対応する校内教育支援センターが設置されている。これは、年々増加する不登校児童の学校内での居場所を確保し、不登校を未然に防止するとともに、不登校児童の登校復帰を支援することを目的としている。そこで、小郡市の不登校の現状と校内支援センターの果たす役割について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市内小中学校の不登校児童生徒の現状と支援体制上の課題は何か。
- (2) SSW・家庭・子育て支援センター等、関係機関との連携をどのように進めるか。
- (3) 子どもの自信や自立を促すためにどのような指導方針で臨むのか。
- (4) 中学校へのつなぎと高校進学への支援はどのように行っていくか。

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 12月 2日
8時57分受付 8番

令和 6年 12月 2日

会派名 みらいの会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 内山 伸博

質問事項

1. 筑後小郡インター周辺の開発の現状と課題について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

ようやく11月21日にコストコ小郡倉庫店が開業の運びとなった。アクセス道路の渋滞も当初の予想ほど無かったように思われるが、それでも初日・土曜日・日曜日は常に駐車場は満杯状態であったようだ。今後、主要地方道久留米筑紫野線沿線の開発により周辺道路が渋滞することが予測される。そこで、今後の周辺道路の現状と課題について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市道30号線 (通学路) の整備状況について問う。
- (2) その他の通学路の整備状況について問う。
- (3) 大保今隈10号線について問う。
- (4) 主要地方道久留米筑紫野線及び国道500号線について問う。
- (5) インター周辺まちづくり構想における道路整備について問う。

（一般）代表）質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日
8 時 59 分受付 9 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6 年 12 月 2 日

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

質問事項

1. のるーと小郡の公共交通について

（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

令和 6 年 10 月より、「のるーと小郡」の本格運用に関して、一部料金の見直しが行われたが、乗る距離に応じての距離別運賃方式で、運賃が公平に設定されているのか疑問である。2 キロ未満の料金 200 円の利用者が全体約 82.6% と多数を占めている点について問う。

また、高齢者・障がい者、免許返納者の交通弱者の運賃に考慮されているとは思えない。また、公共施設 3 か所（市役所、あすてらす、生涯学習センター）の 500 円という料金設定と、公共施設は他にも存在するのにも関わらず、この 3 か所のみという設定に関して疑問である。

「のるーと小郡」の年間約 4,400 万円の経費負担、キャッシュレス決済の経費負担に関して問う。

質問明細（具体的に）

- （1）2 キロ未満から 6 キロ以上の 4 段階の利用者数と金額と比率について問う。
- （2）運賃の公平性について、2 キロ未満の料金 200 円から 6 キロ以上の 1,000 円までの 4 段階の利用料金について市の考えを問う。
- （3）2 キロ～4 キロ未満は 500 円で、距離 2 キロの伸びで 300 円の増額について問う。
- （4）高齢者、障がい者、免許返納者の交通弱者の割引運賃について市の考えを問う。
- （5）公共施設 3 か所（市役所、あすてらす、生涯学習センター）の 500 円という料金設定と、公共施設は他にも存在するのにも関わらず、この 3 か所のみという設定に関して問う。
- （6）「コミュニティバス」と「のるーと小郡」の利用者数と経費比較について問う。
- （7）キャッシュレス決済の経費負担に関して問う。

質問事項

2. 小郡市の発注の施工管理について

（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

小郡市の発注の立石小中学校の通学道路の区画線設置工事は、児童・生徒の通学がない休み期間に行うべきである。

また、ため池工事に関しては、水生生物が生息、飛来する鳥の生息環境に配慮して、工事を行う必要がある。

工事管理について、工事の周知、工事期間、工事内容、適切な時期、環境を考慮して、工期、工事内容を把握して発注されているか疑問な面が見られる。また、自然環境に配慮した工事・公園管理が行われているのか疑問である。小郡市の工事・施工管理に対する考えを問う。

質問明細（具体的に）

- （1）立石小中学校の通学道路の「区画線設置工事」について問う。
- （2）本郷基山停車場線の道路拡幅工事について問う。
- （3）井の浦堤土砂吐きゲート設置工事について問う。
- （4）公園の除草剤の散布について小郡市の考えを問う。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6 年 12 月 2 日
9 時 4 分受付 10 番

令和 6 年 12 月 2 日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小坪 輝美

質問事項

1. 多死社会と自治体の対応について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

日本では人口減少と少子高齢化がすすみ、まだしばらくの間は高齢者の増加が続くと言われている。また、世帯主が65歳以上の単独世帯も大きく増えているとのこと。小郡市においても同様のことが言える。高齢者の『孤独死』も年間6.8万人と推定されており、家族や社会の在り方が変化する中で、『引き取り手のないご遺体』も急増。このような状況に対して、自治体が対応に苦慮する課題も増えている。そこで、小郡市における『孤独死』『引き取り手のないご遺体』の対応について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 『孤独死』や『引き取り手のないご遺体』の現状について、数・世帯状況・対応等について問う。
- (2) 今後、自治体として果たすべき役割について、エンディングプラン・サポート事業等について問う。
- (3) 『孤独死』『引き取り手のないご遺体』が生活保護利用者の場合、葬祭扶助・諸手続等について問う。

質問事項

2. 自治会への加入について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

以前は、全員加入が当たり前であった自治会も、加入自体が任意であるため、最近では加入率が低下。高齢者の見守りや防災・減災等地域課題の解決のため、自治会が大きな役割を果たしてきている中で、このような状況への市の見解について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 各自治会の加入状況と傾向について問う。
- (2) 今後の加入促進の取り組みについて問う。
- (3) 自治会に依頼している、広報紙の配布・敬老会・自主防災組織・ふれあいネット事業等における未加入者への対応について問う。
- (4) 区振興費について (金額やその根拠について) 問う。

（一般・代表）質問通告書

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 _____ 小坪 輝美

質問事項

3. 子ども医療費助成について

（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

全国的にも子ども医療費助成が広がっている。福岡県下においても同様。特に、就学前までの窓口負担がゼロのところが多く、子どもを安心して産み育てていく上で大事なことはないだろうか。来年度からは、3歳～就学前（通院）までの窓口負担が800円なのは、小郡市と糸島市だけとなる。小郡市における子ども医療費助成についての見解を問う。

質問明細（具体的に）

（1）実施の意向の有無について問う。

一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6 年 12 月 2 日
9 時 16 分受付 11 番

令和 6 年 12 月 2 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 山田 忠

質問事項

1. 農業政策について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

食糧安全保障の確保を基本理念とする改正「食料・農業・農村基本法」が、令和6年5月29日に参議院本会議で可決・成立をした。この法律は農政の憲法ともいわれるもので、25年ぶりの改正になる。食料の安定供給を巡るリスクの高まりや農業従事者の高齢化に伴う担い手不足、気候変動による自然災害の多発、輸入原材料の価格の高騰など、農業の情勢も大きく変化をしてきているが、法改正後の施策の主なポイントはどのようなものが示されているのか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 国の方針を受け、市としてどのような施策を進めていくのか。
- (2) スマート農業の現状と今後の取り組みについて問う。
- (3) 地域計画策定の取り組みの現状と課題について問う。
- (4) 多面的機能支払交付金の見直しについて問う。

(一般)質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日
9 時 17 分受付 12 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6 年 12 月 25 日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 田中雅光

質問事項

1. 聴覚障がい者支援について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

今年 4 月に障害者差別解消法の改正法が施行され事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化された。障がいのある人もない人も共に生きる社会を目指し共生社会を実現していくための法整備である。もちろん自治体も平成 28 年に定められた障害者差別解消法において環境整備を行っていくことはすでに規定されている。小郡市は職員対応要領を作成し積極的に差別解消へ向けた努力が見られ、庁舎内への手話通訳者の配置や筆談ボード等を活用した取り組みも行っているが、さらに使い勝手の良い市役所とするために問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) ICT・AI の活用について問う。
- (2) 高齢のろう者へのタブレット・スマホの講座について問う。
- (3) 市民啓発及び手話理解促進について問う。
- (4) 職員の確保及び職員教育の現状を問う。
- (5) 学校教育における手話教育について問う。
- (6) 事業者への理解促進の現状を問う。

質問事項

2. 手話言語条例の制定について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

昨年 5 月に福岡県の手話言語条例が施行された。手話は言語であり、ろう者にとってなくてはならないものだ。ろう者が日常生活を安心して営むことができる社会の実現に向け、手話や手話言語を使うろう者への正しい理解を広めることが必要である。その強い意志を示す意味においても市が条例を制定することが必要ではないかと考える。市の考え方について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 手話言語条例の意義や役割について問う。
- (2) 手話言語条例を制定することについて問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日
9 時 23 分受付 13 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6 年 12 月 2 日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場 美紀

質問事項

1. 「七夕の里おごおり」地域ブランドの確立について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

平成 30 年度から始まった「七夕プロジェクト」は、本市の地域資源である「七夕」を活用し、地域ブランドの確立を目指すために、これまでイベント戦略、イメージ戦略、商品戦略を柱として積極的に取り組んできた。

しかし、市外での発信に比べ市内での発信が弱いとの声や、市外から訪れる方が「七夕の里おごおり」としての特徴を十分に認識できていないという市民からの声がある。また本気で発信するのであれば、各駅を降りたところや道路など、様々な場面で「七夕の里おごおり」を目にする工夫が必要ではないかという意見も寄せられている。

これらの課題を受け、実際に地域ブランドとしてどの程度成果を上げているのか、市民への認知や愛着形成が十分であるのかを改めて確認する必要があると考える。

さらにプロジェクトの中で生まれた『叶え星文様』にこめられた「人々の願いに寄り添えるふるさとでありたい」という想いを活かし、新たな戦略につなげるべきと考える。そこで、これまでの取り組みの進捗や成果、課題を検証し、地域ブランドの更なる確立や市内外への効果的な発信の在り方について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) これまでも幾度と質問はあっているが、「七夕の里おごおり」としての地域ブランドの確立について具体的な成果を問う。
- (2) 「七夕の里おごおり」の認知度向上や市民一人ひとりにシビックプライドを醸成するための具体的な施策について、現状と今後の取り組みを問う。
- (3) 「七夕の里おごおり」を地域ブランドとしてさらに発展させ、交流人口や関係人口を目指す新たな方針や施策について問う。

質問事項

2. こどもまんなか社会について (市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

こどもまんなか社会の実現に向けて、小郡市では子ども家庭支援センターの設置により、子どもを中心とした施策に取り組む方針を示してきた。その後、どのような課題に注視し、具体的にどのような取り組みを進めているのかを問う。

また、学校への行きづらさを抱えている子どもの支援について、市の HP などを見ても、どのような支援が受けられるのかが明確でないという声がある。「相談窓口へ」と案内だけでは、相談の具体的なイメージが湧かず、結果として相談に踏み出せないケースが懸念される。こう

した課題に対し、市はどのように対応し、わかりやすい情報発信を進めていくのかを問う。

さらに学校への行きづらさを抱えている子どもや、障がいのある子どもたちへの多様な学びについてはこれまでも質問がなされてきたが、個に応じた指導の充実を図ることに対し、市としてどのように学びを捉えているかを問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 子ども家庭支援センター設置後、子どもを中心とした施策の取り組み状況について問う。
- (2) 子ども家庭支援センターにおける、子ども広場の活用について問う。
- (3) 学校への行きづらさを抱える子どもの支援について、事前に情報を得にくいという声に対してどのように考えてあるかを問う。
- (4) 個に応じた指導の充実を図ることについて、子どもたちが学びあう場をどのように捉えているのかを問う。

一般代表質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日
12 時 46 分受付 15 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6 年 12 月 2 日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 立山 稔

質問事項

1. 小中学校教育について

(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市では、小郡市立の小学校 7 校、中学校 4 校、そして、みどりの森 くらつち学園 立石小・中一貫校がある。それぞれの小学校・中学校・小中一貫校では立地や住宅事情も違っており、大規模校・適正規模校・小規模校があるが、全体としては学び場としての公平性・平等性を保つための配慮がなされていると思う。

そこでこれまで、学校規模が主な要因であると思われる課題についてどのように考え解決に向けた努力をなされてきたのか。また、これまで実施されてきた特徴的な教育施策に関し、そこで出た課題に関してどのように解消してこられたのか。そして、今後はどのような方針に基づいて小学校、中学校、小中一貫校の教育を推進していかれるのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) これまで本市で独自に行ってきた小学校教育に関する特徴的な施策について問う。
(小学校教育について)
- (2) 課題として捉えられたことについて問う。(小学校教育について)
- (3) その課題に関してどのように解消されてきたのかを問う。(小学校教育について)
- (4) 今後の小学校教育に関する方針について問う。(小学校教育について)
- (5) これまで本市で独自に行ってきた中学校教育に関する特徴的な施策について問う。
(中学校教育について)
- (6) 課題として捉えられたことについて問う。(中学校教育について)
- (7) その課題に関してどのように解消されてきたのかを問う。(中学校教育について)
- (8) 今後の中学校教育に関する方針について問う。(中学校教育について)
- (9) 通学区域特認制度について問う。(中学校教育について)
- (10) みどりの森 くらつち学園 立石小・中一貫校の開校までの経緯並びに今後の方針について問う。(小・中一貫校教育について)
- (11) 現在認識されている課題があるのかどうかを問う。(小・中一貫校教育について)
- (12) もし課題があれば、どのように解消されるのかを問う。
(小・中一貫校教育について)
- (13) 今後の小・中学校一貫教育に関する方針について問う。
(小・中一貫校教育について)
- (14) 通学区域特認制度について問う。(小・中一貫校教育について)